

ひと

地方創生で注目される「地域商社」の先駆者

まつもと ゆずる
松本 謙 さん(49)



イチゴやギョーザといった栃木県の産品や観光地を全国に売り込む「ファーマーズ・フォレスト」社の社長。地方創生を掲げる政府が全国100社設立をめざす「地域商社」の先駆けとされる。月の3分の1は講演などで各地を飛び歩き、「地域の物語を作って、泥臭く地道に実行を」と説く。

長野県出身。日産自動車に入社

し、栃木工場に配属された。「平凡な組織人」だったが、寮との往復に飽き足らず30歳を前に転職。施設運営会社でイベント施設立ち上げや旅館の再生をほぼ一人で手がけた。「仕事は他人(ひと)から自分事になった。人生が劇的に変わった。思ったより打たれ強くて負けず嫌いな自分がいた」。30代は休んだ記憶がないが、楽しかった。飛躍は2008年。宇都宮市出資の第三セクターが運営していた農林公園をコンペで勝って引き継いだ。勢い込んで運営や商品の見直しを提案すると、「よそ者に何ができる」と強く反発された。「打ちのめされた。ダメなら首を切ってくれと言いつつ、売り上げを伸ばすことで信頼を得た」。栃木ブランドを発信する情報誌、東京スカイツリーのアンテナショップと事業の手を広げてきた。

栃木のよさは「里山があり、土地も人もおらかなところ」。沖縄にも支店を作った。まず季節の違いを利用して産品を融通し合い、次にアジアをめざす。

文・長谷川智 写真・山本和生